



# 活 動 報 告 書

上下水道部会

事業名称	公益社団法人 日本技術士会 中国本部上下水道部会 2022 年度 中国本部上下水道部会例会・講演会 (公社) 全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部との共催 (以降：水コン協)		
実施時期	2022 年 8 月 20 日 (土) 12:50~17:20		
実施場所	発信会場：広島 第3 ウエノヤビル6階 コンファレンススクエア 受信会場：鳥取、島根の各拠点会場で集合参加方式 統括本部は個別オンラインによる参加方式(広島も一部個別オンライン方式)		
参加人数	例会 18名 (会場9名、Web9名) 講演会 110名 (会場28名、Web82名) (うち水コン協16名)	CPD	3時間30分
事業内容 と感想	中国本部上下水道部会の2022年度例会・講演会を以下のとおり実施した。 <u>上下水道部会例会 (12:50~13:30)</u> 2021年度活動報告、2022年度事業計画、新CPD制度と登録、倫理委員会報告など <u>講演会 (13:50~17:20)</u> 基調講演 (14:00~15:00) 「下水資源を利用した微細藻類培養による再生可能エネルギーの創出」 講師：鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科 准教授 高部 祐剛 氏 講演1 (15:10~16:10)「広島県の流域下水道施設における浸水対策」 講師：広島県 西部建設事務所 次長 北山 忍 氏 (技術士 建設、総監部門) 講演2 (16:10~17:10)「下水道管路の調査・点検技術の動向」 講師：管清工業(株) 本社技術部 部長 深谷 渉 氏 (技術士 上下水道部門) 例会では、会員の状況、2021年度事業報告、2022年度事業計画などの報告を行った。 引続き、新CPD制度と登録に関する説明と倫理委員会の活動報告が行われた。 基調講演は、現在、排除・処理されている下水中の資源を活用し、低廉なコストでバイオ燃料を生産するという地球温暖化対策と下水処理場のエネルギー供給拠点化を目的とした研究成果の報告であった。嫌気性消化ガス利用の土着藻類培養への利用や、下水処理水を利用した土着藻類の培養手法なども紹介された。講演1は、流域下水道施設の浸水対策の必要性および、ハード対策(レベル1、施設に被害が生じない)とハード+ソフト対策(レベル2、県民生活に重大な影響を与えない)の2段階の対策について実施事例の紹介があった。講演2は、老朽化した下水道管路が増加する中で、技術者は減少していく。このような状況下で管路管理技術はどう対応していくべきかという観点で、管路スクリーニングやカメラを利用した新しい調査技術などを具体的に説明された。会場では、検温、消毒、窓開放等に加え空気清浄機による新型コロナウイルス感染症対策を行った。		
			

会場の状況

高部祐剛先生